

八王子市議会レポート

50 2011年4月11日



北野台在住

# つくる、つくろう通信

陣内やすこ(2期目) 八王子市議会議員・無所属市民派  
少子・高齢化特別委員会委員長

編集/発行：市民自治の会(陣内やすこ)

〒192-0912 東京都八王子市絹ヶ丘2-11-7 TEL 042-636-8158 FAX 042-636-8640

E-mail jinnaiya@mbk.nifty.com URL http://jinnai.ne.jp/

## 謹んで地震災害のお見舞申し上げます

東日本大震災により、尊い命を亡くされた方々のご冥福をお祈りするとともに、被災された皆様に、心よりお見舞い申し上げます。

一刻も早い被災地の復旧、ならびに避難されている方々の生活正常化がすすむことを願っています。

また、救援・救出作業にあたられている皆様に心より感謝、命がけて原発炉等の冷却作業にあたられている人々の努力が実って、これ以上拡大しないよう願うばかりです。

## 被災者救援に全力をあげ、原発災害の拡散防止を祈る

支援の輪が広がる

### 八王子市義援金 1億円突破!

3月31日午後1時現在  
1億602万円

多くの方々のご協力、  
本当にありがとうございます。

### 「東北関東震災総合 相談センター」開設

電話 042-620-7242

主な相談内容

- (1) 震災被災者の住宅支援の関すること
- (2) 物資支援関すること
- (3) ボランティアに關すること
- (4) 義援金に關すること など

こんなことやっています

### 陣内やすこの行動

災害緊急FAX通信 発行

義援金募金活動に参加(市議会・市民団体・事務所)

地域の高齢者関連施設見回り

大型店舗に、節電協力依頼

救援物資呼びかけ(今は一時中止)

放射能測定要請と情報提供要望

避難されてこられる方々の支援体制への働きかけ など



原発事故処理は、高濃度の放射線漏れの中での作業で困難を極めています。作業されている方の被曝も報じられ、心が痛みます。安全神話が崩れ、政府ならびに東電の対応・情報公開に不審が募ります。制御不能のものをつくってはいけない!

現地はもとより、広範囲に広がった放射能汚染の影響は、そう簡単には一掃されません。私たちは、この現実に向かって向き合っていかなければなりません。

原発依存を見直し、時間がかかっても自然エネルギーへの転換を図っていくことで、すこしでも安心できる環境を次世代へとつないでいくことが、今を生きる私たちの責任ではないでしょうか。

陣内やすこは、反原発自治体議員連盟の一員として、きっぱりと発言していきます。

## 地域防災

今回の地震発生時、私は議会中で大勢の人と一緒にあったにもかかわらず、とてもこわかった。おひとり暮らしの方は、大変心細く、不安も大きかったことでしょう。また、その後の停電への対応など、多くの課題があります。ガソリン不足は、デイサービス施設などにとって大きな悩みでした。買物難民などの課題もあり、地域防災計画を点検していく必要があります。

3月議会から

「携帯電話中継基地等の開設に関する条例設定を求める請願」が採択されました。



陣内	自民党	公明党	日本共産党	市民・民ク	民主・八王子未来・無所属	諸派
	×			×		

「地域の環境と健康を考える会」から出された請願で、中継基地等を設置する時には、事前の住民周知、説明会開催、市への報告等を義務づける条例をつくるよう、市側に求めるものです。市民の方々の精力的な活動で、第1段階クリアです。これからは問題です。実効性のある条例になるよう、働きかけていきます。

賛成討論をしました。

はじめて、私が携帯電話中継基地局設置の問題をとりあげたのが、2008年6月。最初は、「なあに、それ?」といった感じの議会の雰囲気でしたが、ここまで、合意ができてきました。市民の健康を守るためには、国やWHOの見解・指示を待つことなく、自治体発信で積極的に取り組むことが必要だと訴えました。

少子・高齢化対策特別委員会  
委員長報告を行いました。

2年間の取り組みです。委員長として、心がけたのは、議員同士の議論を深めることです。不思議なことに、今まで、こういったことがやられてこなかった。また、開催日数も、通常ならば、4回のところ、委員会6回、懇談会8回と、熱心な取り組みとなりました。

議会の総意として、「待機児童解消に向けての提言」をまとめ、市長に提出、施策に取り入れられました。また、高齢者問題では、議員が2人ひと



組となって、包括支援センターへ訪問調査。現場の声をたくさん伺ってきました。

これらの経験で、改めて、地方自治に政党はいらない! を実感。

議会改革の  
第一歩です。

そごう 撤退 どうなる?

八王子駅ビルからの「そごう」撤退の新聞発表にびっくりしました。寂しいとともに、「なんで?」「やっぱりね」と複雑な心境です。

市長からは、再考をお願いする、とのことでしたが、経営決定を覆すのは難しいとの判断もあって、新たなテナント誘致にむけて、JRとの協議も視野に入っています。

しかし、南口再開発ビルにスーパー、飲食テナント、また、JRビルに量販電気店、保育園などが入っていることを考えると、どんなテナントが入居可能なのか、とんとイメージがわからない。今の時代、消費が落ち込んでいることもあって、あたらしい発想で、対応を考えるべきではないでしょうか。

私は、長野県の茅野駅のように、駅図書館、そして子育て広場、ならびに、男女共同センター、しごとセンター、そして、高齢者向けのリハビリセンターなどを整備できるといいな、と思っています。

皆様のご意見はいかがですか? 一緒に考えていきましょう。



2011年度予算の採決状況 (賛成27: 反対10)

読売新聞記事掲載されました (3/3・3/10)

陣内やすこの  
反対理由

教育費の予算が国基準、他市と比べて、少なすぎる

特別支援学級入学が抽選に。質の底上げをしてこなかったつけを親にまわすな!

旭町・明神町地区整備、北西部幹線整備、保健センター構想、北口駅前整備など、十分な議論のないまま、進んでいる

南口再開発事業の反省がない 面的まちづくりへの転換が必要

陣内	自民党	公明党	日本共産党	市民・無所属ク	民主・八王子未来・無所属	諸派
×			×		(2人) × (1人)	(1人) × (3人)

(地震発生のため、総括質疑3日目途中から、議会審議ストップ)